

科目分類	助産学実践科目 実践・関連			開講時期	1年	前期
科目名	周産期における診断方法と診断技術					
選択/必修	必修	単位数(時間数)	1単位	15時間	授業形態	講義
担当教員	住本 和博					
メールアドレス	教務学生課を窓口とする	オフィスアワー	教務学生課を窓口とする			

授業目的	1) 産科領域で用いられる各種診断法を説明できる 2) リプロダクションに関連した検査について説明できる 3) 妊娠・分娩時の胎児モニタリングの評価ができる
授業概要	妊産褥婦のニーズの多様化に伴う周産期医療における助産師の基礎的能力を養うため、妊婦健診に必要なME機器と超音波診断の基礎的技術、リプロダクションに関連した検査(妊娠前・後の検査)、また、妊娠・分娩時の胎児の異常の早期発見に必要な胎児モニタリングの基礎的な知識を養う。
授業計画	第1回 妊娠前・妊娠後の検査 第2回 助産に関係するME機器 原理と機能について 第3回 妊娠期の助産診断に必要な検査法 第4回 超音波検査 使用方法など演習も含む 第5回 胎児心拍数モニタリング 機器の装着など演習も含む 第6回 胎児心拍数モニタリングによる評価 第7回 周産期における診断の実際と応用(超音波診断・胎児モニターリング)① 第8回 周産期における診断の実際と応用(超音波診断・胎児モニターリング)②
教材 参考文献等	教科書：医学書院 助産学講座2 基礎助産学〔2〕母子の基礎科学 第5版 助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ〔1〕妊娠期 第5版 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ〔2〕分娩期・産褥期 第5版
成績評価 基準・方法	試験 70% レポート 30%
履修要件	なし
留意事項 その他	特に分娩時の母児管理に必要な知識を身につけ、分娩介助の実習に臨んでください。